

立教女学院中学校土曜集会プログラム

2023 年度

テ ー マ 『隣人を大切にして、平和な社会をつくろう』

サブテーマ 「今、わたしたちにできることは何か」

【ねらい】国内外で今、何が起きているのか、困難な状況に置かれた人たちがどのように支えられ生活されているのかを聴き、また戦後 80 年が近づくなかわたしたちが身近なところで今できることは何か考え学ぶ機会をもちました。

- 4月 イースター礼拝 説教半田ウイリアムズ郁子師（英国国教会司祭）【マーガレット】
12人の弟子たちは、イエス様の十字架の死により自信喪失。三日後の復活で信仰を回復し、神様の存在の大きさを痛感しました。わたしたちも神様を忘れることなく、希望をもって日々過ごすことの大切さを勧めていただきました。
- 5月 お話「日本で暮らすウクライナ避難者の支援現場から」横山由利亜氏（日本 YMCA）【マリア】
ウクライナから避難者は 2400 名を超え、住宅・就労・教育・健康に留まらず、政策や物資では対応できない心の支援に、どの様に寄り添うことが求められているか教えてくださいました。
- 7月 お話と演奏 式町水晶氏（ポップヴァイオリニスト）【マリア】
脳性麻痺による車いす生活でいじめに遭い自暴自棄に。母の勧めでヴァイオリンと出会い、病気・生活・自己を捉え直し乗り越えてこられました。東日本津波ヴァイオリンの演奏曲では、各地の災害支援に励みながら、「心と体を大切に」との祈りとメッセージを発信されました。
- 9月 諸宗教を学ぶ 1年 カトリック麹町教会「聖イグナチオ教会」礼拝体験【四ッ谷】
2年 イスラム教モスク「東京ジャーミー」礼拝体験 【代々木上原】
3年 仏教「臨済宗龍源寺」松原信樹師の法話と坐禅体験 【体育館】
- 11月 お話「取り残さない、小さな声を」峯ヤエル氏（シャプラニール）【マリア】
戦後バングラディッシュへ向かい、災害・フェアトレード・児童労働等の支援と交わりを今も続けておられます。身近な外国製品の製造では、現地の子どもたちが過酷な労働によって傷つけられている現状を知りました。
- 12月 クリスマス礼拝 説教成成鍾司祭（日本聖公会東京教区八王子教会）【マーガレット】
イエス様が生まれた馬小屋の子馬の絵本を読んでくださり、私たちは皆心の中に星の光を持っていて、希望や勇気を与えるために神様から送られていること、しかもその星はひとりで光ることはできず、互いに心と力を合わせて光る方法を学ぶ存在だ、とお話くださいました。
- 1月 ニューイヤーコンサート(東京フィルハーモニック管弦楽団)【武蔵野市民文化会館】
指揮 梅田俊明氏、ソプラノ 塩田美奈子氏、テノール 小貫岩夫氏
モーツァルト 歌劇「魔笛」、シュトラウスⅡ世 喜歌劇「こうもり」
メンデルスゾーン 交響曲「イタリア」
- 2月 お話「沖縄を知っていますか」平良愛香氏【講堂】（日本基督教団川和教会牧師）
1972年まで米軍統治により沖縄の人々は基地被害に苦しみ、また基地によって加害者となり、沖縄の平和は今も遠ざかっています。ウチナンチュ・沖縄人がマイノリティとして生きている現状とわたしたちの今後の課題を教えてくださいました。
- 3月 まとめ 生徒代表者による土曜集会ノート発表と校長先生のお話【講堂】
1年のプログラムをふりかえり、今の考え、気づき、そして今後の課題をまとめる時間です。代表生徒による土曜集会ノートの発表と校長講話、お祈りが行われました。
- 3月 合唱交歓会 講師（国立音大）【講堂】課題曲と自由曲の発表。講師による講評。